

平成30年度 4月教育委員会 会議録

開催日時	平成30年4月27日(火) 15:00~17:00	
開催場所	早島町町民総合会館 2階 研修室	
出席者	委員	徳山順子教育長、大森茂委員、森綾子委員、綾野克紀委員、竹井成範委員
	事務局	貝畑和明学校教育課長、黒木克美生涯学習課長、猪木浩二課長補佐、大部桂嗣主事
会議次第	<p>1 開会 教育長あいさつ</p> <p>2 議事・報告案件 (1) 早島町教育委員会の所管する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について(平成29年度実施事業) (2) 平成30年度教育施策の概要 ～「教育のまち・早島」推進アクションプラン～ (3) 平成30年度 早島町教育委員会「働き方改革プラン」 ・留守番電話等について (4) その他</p> <p>3 連絡 5月教育委員会について 日時：5月25日(金) 13:30~16:00 場所：早島中学校(授業参観) 応接室</p>	
会議資料	<p>【資料】「平成29年度教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検・評価報告書」 平成30年度教育施策の概要～「教育のまち・早島」推進アクションプラン～</p>	
傍聴者	なし	
会議録作成者	大部 桂嗣	

会議内容	
1 開会	教育長あいさつ

教育長：こんにちは。第1回教育委員会にご出席をいただき、ありがとうございます。最初に、新しく教育委員になられました、竹井委員さんからご挨拶をお願いします。

竹井委員：竹井です。よろしくお願いします。

教育長：今年度の教育長職務代理者は大森委員、来年度は綾野委員にお願いするということでよろしいか。

一同：よい。

教育長：小学校の入学式には県知事が来られたが、子どもたちの様子や歌声に感心されていた。今日は「働き方改革プラン」や「点検及び評価に関する報告書」、「H30年度教育施策の概要」について、再度新たに検討をお願いします。本日もよろしくお願いします。

2 議事・報告案件

(1) 早島町教育委員会の所管する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関する報告書について（平成29年度実施事業）

教育長：報告書については、3月教育委員会で検討済み。それを踏まえて、岡山大学大学院准教授の村松先生に評価をいただいたので、その内容をここで確認したい。

貝畑学校教育課長：（点検・評価に関する有識者からの意見を読み上げる。）今後に向けての意見をいただきたい。

教育長：学校教育ビジョンを推進して5年になる。着実に成果は上がってきていると思うが、今年度は新たな方向性を示していくべき年だ。E S Dの研究成果についても、教員が主体的に研究に取り組み、授業改善を図っていることをたのもしく感じる。指導力を高めるための研修の充実も図りたい。今年度は、新学習指導要領の先行実施の年であり、つけたい力を明確にした授業改善に取り組んでいきたい。

森委員：様々な面から、評価をいただいている、ありがたく思う。P.20にあるように、不登校児への対応を忘れてはいけない。いろいろな面で力がついているのは確かだが、学校に行きにくい子どもたちがいることも忘れてはいけない。

教育長：その通りである。一人一人を大切にしたい教育をしていきたい。学校や地域に子どもたちの居場所をつくりたい。小学校時代、早島町適応指導教室（ふれあい教室）にいた児童が中学校の入学式に出席し、4月から中学校に元気に通っている。スクール・ソーシャル・ワーカーや担当教員と、毎月、不登校児童生徒について支援の在り方を検討している。不登校児童生徒は減ってきているが、新たに不登校をうまないような未然防止の取組を家庭と一体となってしていきたい。学校に行きにくい場合は、ふれあい教室に来てもらい、少しずつ学校に行けるようにしていきたい。

竹井委員：スクール・ソーシャル・ワーカーは何人いるのか。

教育長：町担当は1人である。家庭に出向くことができる。スクールカウンセラーも1名いる。小学校は隔週、中学校は毎週、県教委から派遣され、保護者や子ども、教員とのカウンセリングができるようになっている。また、小学校には登校支援員を2名配置してい

ただいっており、校門前で一人一人に声をかけたり、家庭訪問をしたりして、サポートしており、教育効果を上げている。

森委員：学級担任の先生も助かっている。

(2) 平成30年度教育施策の概要 ～「教育のまち・早島」推進アクションプラン～

教育長：(教育施策の概要) 本年度の重点目標は、早島町学校教育ビジョンの推進、学力向上に向けた授業改善の活性化、不登校児童生徒の減少、E S Dの推進、グローバル人材の育成。

教育長：本年度の施策として、E S DやN I Eの研究指定、ボルダリング・スラックラインによる体幹を鍛える取組、放課後学習サポートによる学習支援、iPad の購入等 I C T機器の充実、小学校に配置した英語専科とA L Tによる英語授業、オンライン英会話、英検応援制度、学校と町立図書館とのネットワーク化など。

森委員：数値目標で、中学校で「悩み事を話せる先生がいる」が80%なのはすごい。

教育長：相談しやすい先生が学級担任以外に一人でもいるのは大きい。100%にしていきたい。生涯学習についても力を入れている。新課長以下、職員を紹介する。

黒木生涯学習課長：4月から岡山教育事務所より生涯学習課長に。自転車で通っていると、地域の方や子どもたちが明るくあいさつしてくれる。活動が活発な生涯学習の町を実感している。よろしくをお願いします。

貝畑学校教育課長：二年目です。今年もよろしくをお願いします。

猪木課長補佐：総務課から来た。学校との連携、事務をする。よろしくをお願いします。

大部主事：二年目です。よろしくをお願いします。

教育長：生涯学習の重点事業として、「まなびの舎講座」の充実で、地元企業団体との連携等を通して、学びを地域に還元していく。いぶき荘のトイレ洋式化、町立図書館と学校図書館のネットワーク化、中央公民館の体育施設の新設、ゆるびの舎空調修繕、深砂テニスコートの改修、夏祭りや町民運動会等のイベント、地域行事の周知、地域防災訓練、わくわくサマーホリデー、公民館先進地視察、総合型地域スポーツクラブ、親プロのファシリテーター育成講座、ゆるびの舎20周年記念事業などがある。今年度も、「教育のまち」とは、「生涯学習のまち」であり、充実した取組にしていきたい。

(3) 平成30年度 早島町教育委員会「働き方改革プラン」

教育長：昨年度から積極的に取り組み、成果を上げてきている。今年度は、昨年度より時間外業務10%減を目指す。時間の限りのある中で生産性をあげていきたい。最終退校を20時。留守番電話の導入。定時退校日の設定。お盆期間の完全閉校。部活動休養日を週1回土日1日以上。部活動指導員・業務アシスタント等の外部人材の活用。授業・校務を工夫。小学校高学年の教科担任制、道徳のローテーション授業、I C T機器の活用など。

教育長：留守番電話を導入しているのが27市町村のうち半分であり、国や県の方を踏

まえ、6月から実施していきたい。

森委員：以前、別の市町村で留守番電話を入れたことで対応ができなかったという事例があった。

綾野委員：メールでの対応はどうか。そのほうが対応できるのでは。

教育長：ご家庭によって、ネット関係が整っていない場合もあるので難しいと思う。

綾野委員：留守番電話よりもよいとは個人的には思うが。

大森委員：留守番電話にしても出てしまうのでは。役場はどうか。

猪木課長補佐：宿直が対応している。

大森委員：留守番電話を設定し、緊急の場合は役場の宿直室へつながるようにしたらどうか。

森委員：電話を回すところがはっきりしていればよいのでは。

教育長：学校にも携帯電話を渡しており、その携帯電話や町役場の宿直電話を活用して、緊急の場合は対応したい。

竹井委員：緊急でないものでも、親が緊急と思う事態（忘れ物をした等）が大量に役場にかかる大変。メールもよいが、だれがチェックするのか。今はラインでの連絡も主流。

留守番電話でもメールでもチェックが大事だ。

綾野委員：朝はいつまで設定するのか。

教育長：学校と検討中であるが、7時30分までの方向で検討している。

大森委員：留守番電話を入れる方向はよい。最終的な設定時間は学校と相談し検討していただきたい。

全委員：留守番電話機能の導入は了解した。

教育長：校園長会で時間を検討し、6月から導入していきたい。

3 連絡

- ・土曜はやしま塾スタート (4/28 9:00～10:30)
- ・ロゲイニング (5/12 9:00～12:00)
- ・Enjoy English Juku (5/12 13:30～15:00)
- ・小学校運動会 (5/26 9:00～)
- ・中学校体育会 (6/2 9:00～)
- ・次回の5月教育委員会について

5月25日（金）13：30から早島中学校で授業参観後、教育委員会を開催。